

佐賀伝承遺産研究会から、事業内容とスケジュールが決まりましたのでお知らせします。今後とも皆様方の応援よろしくお願い致します。

-----  
【タイトル】 続・歴史とまちづくりフォーラム

【サブタイトル】佐賀を元気にするストーリー

「三重津海軍所とその時代」3回シリーズ

コーディネーター：長野 暉（佐賀大学名誉教授）

【事業名】佐賀市民活動啓発委託事業

「三重津海軍所跡から佐賀を元気にする事業」

【スケジュール】

第1回 10月19日 13:30～16:00

場 所 佐賀市立図書館多目的ホール

開催の辞 土師俊資（佐賀伝承遺産研究会）

基調講演 福岡 博（郷土史家）

第2回 11月16日 13:30～16:00

場 所 佐野常民記念館多目的室

ゲスト 江口善己（佐野常民記念館長）

基調講演 小宮睦之（郷土史家）

第3回 12月14日 13:30～16:00

場 所 旧古賀家（佐賀市歴史民族資料館通り）

ゲスト 秀島敏行（佐賀市長） 予定

基調講演 長野 暉（佐賀大学名誉教授）

【主催】佐賀伝承遺産研究会 佐賀市

【主旨】

三重津海軍所は、諸富町と川副町の間存在した日本最初の蒸気船用ドックを有する海軍所で、1858年佐賀藩によって興されました。その後長い間放置されたままでしたが、現在は、調査をされた後公園となっています。公園でカバーリングされた地中には、江戸時代そのままの形状を残し眠っています。

現在九州山口に残る日本の近代化を物語る産業遺産郡を世界遺産として登録しようと、各地の自治体及び市民団体が活発に運動されています。

しかし日本の近代化を語る際、そのルーツがアヘン戦争後欧州の植民地政策に危機感を抱いた佐賀藩が、欧州の近代技術を取入れるべく興した三重津海軍所にもある事は、多くの研究者が認めるところです。日本の近代化を物語る産業遺産郡の世界遺産暫定リストの中に、佐賀藩幕末の近代化遺産が入っていない事は残念なことです。

佐賀に住む多くの人達も世界遺産になる価値の有る近代化遺産が私達の足下にある事に気がついていない様です。

このフォーラムは、幕末期に佐賀で興った三重津海軍所を題材に、現在の佐賀を元気にするべく、まちづくり活動の一環として取組む事業です。

歴史ストーリーを軸とした佐賀のまちづくりを展開する事と、三重津海軍所跡の世界遺産暫定リスト入りの2つを目的とし、今回のフォーラムを企画しました。

【連絡、申込み先】

TEL 050-3448-6155 FAX 0952-33-8962

E-MAIL [saga-densho@npo-machiken.com](mailto:saga-densho@npo-machiken.com)

NPO まちづくり研究所（松元、三原）